

## 花巻管内における森林施業プランナー育成の取組について

### 1 はじめに

管内の豊富な森林を適正に管理し、林業を再生するためには、生産性の向上による低コスト林業の確立とともに、小規模所有者を含めた森林の集約化が重要です。

当センターでは、森林施業の集約化の中心となって活躍する人材を育成するため、森林施業プランナー育成研修を実施しました。

受講対象者は、管内の「意欲と能力のある林業経営体」や市町村の職員等です。

### 2 研修の準備

先ず施業集約化の基礎的知識を習得させることを目的に、森林施業プランナー協会が発刊している「森林施業プランナーテキスト（改訂版）」内の「提案型集約化施業の意義」、「育林技術」、「原価管理」など7科目を基本に1科目約30分で実施することとしました。

日程は、7月から8月にかけて1日約2時間、計4日とし、講師は当センターの林業普及指導員4名が担います。講義をわかりやすくするため、研修前に講師4名で、綿密な打合せを行いました。

### 3 研修の実施

受講者は、森林組合の職員や地域林政アドバイザー等11名で比較的経験が浅い若手職員が多く参加しました。研修では、テキストを用いるだけでなく、研修科目の上記7科目を割り当てられた4名がそれぞれ、参加者に施業集約化の業務内容等の理解を深めてもらうため、図表を使ったり、実際に計算をする演習時間を設け

るなど、工夫をしながら講義を行いました。

受講者は、急用で欠席した者を除き、毎回熱心に出席し講義に耳を傾けていました。



研修の様子

### 4 今後の予定

10月頃に今年度最後の研修を予定しており、施業集約化の具体的事例を参考に、より実践的な研修を実施することとしています。

新型コロナウイルスの影響もみられますが、これからも受講者の実践力向上に向けたフォローアップを行うとともに、「意欲と能力のある林業経営体」等と連携しながら、森林施業プランナーの育成を図っていきます。